

第90回日本医史学会総会演題目次

特別講演

- ベルリン大学医学部と日本……………ゲオルク・ハーリヒ……………(1)
 ヨーロッパにおける「遊び」の概念と、医史学への影響……………グレゴル・パウエル……………(5)
 会長講演

- 肥後の医学史……………鹿子木 敏範……………(7)
 記念講演

- 楷の木の木陰に楷を語る……………山中太木、藤本十四秋、瀧上順三……………(11)
 出島蘭館医カスバル・シャムベルゲルについて……………ミヒェル・ヴォルフガング……………(13)

一般口演

- 1 中国医学と道教(Ⅹ 薬枕、神枕)……………吉元 昭治……………(16)
 2 湯爾和と北京医学専門学校……………寺畑喜朔……………(17)
 3 軍医落合泰藏……………田中助一……………(20)
 4 田代三喜の『三帰廻翁医書』小兒諸病門について……………広田曄子……………(22)
 5 『小品方』卷十一・本草篇の旧態とその価値……………真柳 誠……………(24)
 6 六朝時代の医書に現れる歯病の分類について……………戸出一郎……………(26)
 7 佐伯理一郎とその『日誌抜萃』……………長門谷 洋……………(28)
 8 東博銅人形の製作者および年代について—幕府医官山崎氏の事跡—……………小曾戸 洋……………(30)
 9 細川桃庵の事跡……………関信之、小曾戸洋……………(33)
 10 呉秀三先生遺稿について—ことに「杏壇訪古」のこと—……………岡田靖雄……………(35)
 11 「肥後藩主 細川重賢公による腊葉帖」供覧……………句坂 浩……………(38)
 12 『蘭方口伝(朱勃兒杜驗方録)』について……………中村 昭……………(40)
 13 西洋と日本の薬局、処方箋の正しい調剤の始まり……………中室嘉祐……………(43)

14	自由民権運動にかかわった川崎の医師たち	深瀬泰旦	(45)
15	『紫式部日記』の出生・産養いに見られる医療思想	長瀬治	(48)
16	吉益禎齋について	岡利幸	(50)
17	初代松本医学専門学校長 竹内松次郎先生創業の苦難とその功績を偲んで	穴田秀男	(51)
18	渋江抽斎自筆『津軽一粒金丹』秘伝書について	松木明知	(53)
19	軍陣齒科の小史	谷津三雄	(54)
20	村井琴山先生の事蹟	難波恒雄、浜田善利	(57)
21	相良藩の帝王切開術伝承について	鳥越謙一	(58)
22	広島地方の藩医たちとその業績	江川義雄	(60)
23	江戸後期芸州山県郡の牛痘接種の研究	末田尚	(61)
24	宋應星の『天工開物』(一六三七年刊)と労働衛生	三浦豊彦	(64)
25	『黄帝内経太素経』における経穴の主治症について	高島文一	(66)
26	倉公淳于意 その二 症例の二	家本誠一	(69)
27	『傷寒論文字攷統補』について	荒木ひろし	(71)
28	中国医療史における小児推拿について	山本徳子	(74)
29	中国国家図書館所蔵の宋刊医籍孤本八種	李志剛	(75)
30	十九世紀ヨーロッパの医育の変遷	石田純郎、H・ポイケルス	(77)
31	眼科症候群名に冠した人名辞典の作成	奥沢康正	(79)
32	John Hunter の歯科医学的業績について	本間邦則	(80)
33	ヒポクラテス「医師の誓い」をめぐっての歴史的考察	今井正浩	(82)
34	アンブローズ・パレの処女出版とその背景	大村敏郎	(84)
35	A. Vesalius の解剖書の図について	酒井恒	(87)
36	佐賀藩の輸入医学書	酒井シヅ	(88)
37	海上随鷗の在坂期間再考	中山沃	(90)

38	『医心方』の伝写について (Ⅸ) —仁和寺本—	杉立義一	(93)
39	高木兼寛とへボン	大滝紀雄	(95)
40	へボンと交流のあった人々	高安伸子	(97)
41	明治戊辰戦争におけるウイリスの診療記録とその評価 —日本人医師による越後口戦傷者記録を中心として—	蒲原宏	(99)
42	鎌倉幕府の京下官医受容形態の考察	奥富敬之	(101)
43	衛生学者坪井次郎	泉彪之助	(104)
44	日本医療団 (第三報) —戦後の活動と九州地方の医療団施設—	佐久間温巳	(106)
45	曲直瀬道三の学友・西友鷗について	木下勤	(109)